

2015年6月26日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号：4582)
問合せ先 執行役員 CFO 博多 一恭
(TEL. 03-5472-1125)

**抗がん剤「rigosertib (リゴサチブ経口剤)」の
骨髄異形成症候群 (MDS)
を対象とした第 I 相臨床試験終了のお知らせ**

シンバイオ製薬株式会社 (本社：東京都、以下「シンバイオ」) は、このたび、抗がん剤「rigosertib (リゴサチブ経口剤)」の骨髄異形成症候群 (MDS: Myelodysplastic syndromes) を対象とした国内第 I 相臨床試験を終了したことをお知らせいたします。

引き続き、シンバイオは高リスク MDS (アザシチジンとの併用による) 及び輸血依存性の低リスク MDS を目標効能としたリゴサチブ経口剤 (当社開発コード：SyB C-1101) の開発を進め、今後は、本剤の欧米での開発を進めるオンコノバ社が実施を計画している国際共同試験への参加を検討してまいります。

また、リゴサチブ注射剤 (当社開発コード：SyB L-1101) につきましては、既に本年1月に国内第 I 相臨床試験の症例登録を完了し良好な結果であったことから、現在、試験終了に向けた手続きを鋭意進めております。

骨髄異形成症候群 (MDS) は、造血幹細胞の異常によって造血障害を起こし、その結果血球減少を起こす病気で、急性骨髄性白血病への移行が高い確率で見られる予後不良の難治性疾患です。日本における MDS の患者数は11,000人程度と推定され、この疾患は高齢者に多く認められるため、高齢化に伴い患者数が増加する傾向にあります。現在、優れた治療方法がなく多くの患者さんが輸血に依存するなど新しい治療方法が切望されております。

なお、今回の臨床試験終了に伴う、2015年12月期の業績見通しの変更はありません。

以上

※オンコノバ社及び当社の会社概要につきましては下記をご参照ください。

【オンコノバ社会社概要】

米国ペンシルベニア州及びニュージャージー州に拠点を置く、バイオ医薬品に特化した製薬企業です。1998年の同社設立時より、がん治療ならびに正常細胞の保護に注力し、自社の所有する125以上の新規化学療法薬候補からなる医薬品化学ライブラリーを基に、新規の分子・生物学的治療を目的とした低分子治療薬を発見、最適化してきました。同社は、**rigosertib**の全世界における開発・販売権を保有しております。同社の詳細についてはウェブサイト (<http://www.onconova.com/>) をご覧下さい。

【当社会社概要】

シンバイオ製薬株式会社は、米国アムジェン社元副社長で、アムジェン株式会社（現在は武田薬品工業株式会社が全事業を譲受）の実質的な創業者である吉田文紀が2005年3月に設立した医薬品企業です。経営理念は「共創・共生」（共に創り、共に生きる）で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じてゆくことにより、社会的責任および経営責任を果たすことを事業目的としております。